



福島県立梁川高等学校

平成 31 年 2 月 7 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 37

■ 青空の端に出されし福寿草 (千葉皓史)

2月4日は二十四節気の一つ立春でした。旧暦では新しい年の始まりであり、春の兆しが現れる頃とされています。新聞によれば、いわき市三和町下三坂地区では春の便りの福寿草が咲き始めたとのこと。少しずつ季節は春に向かっていくようです。福寿草は旧暦の正月の頃に咲くことから「元日草」とも呼ばれ、江戸時代には鑑賞用に栽培されたり、正月の床飾りに用いられたりしました。早春の野に光り輝くように咲く黄金色の花は、その名の通り福を呼び込むようで、私の好きな花の一つです。幼い頃、梁川の祖母の家に咲く福寿草を分けてもらい、自宅の庭に植えたことがありました。毎年、福寿草が花を咲かせる季節になると、幼い頃の記憶が蘇ります。私にとって福寿草は、幼い頃の祖母の記憶とつながっている花でもあります。



■ 「梁川」という地名の由来と鮭漁について

1月25日の朝刊に、梁川小学校二年生の児童たちが、広瀬川に鮭の稚魚を放流した記事が出ていました。一万五千匹もの稚魚は、「広瀬川に鮭をもどす会」の方々がふ化させたものでした。この記事を眺めながら、「梁川」という地名が鮭漁で使用した「築場(やなば)」に由来していることを思い出しました。その昔、阿武隈川に合流する広瀬川とその流域は、鮭漁の築場にちなんで「築川(やながわ)」と呼ばれていました。日本列島では太古より、利根川以北の太平洋沿岸や山口県栗野川以北の日本海沿岸の河川に、秋になると盛んに鮭が遡上しました。縄文時代、町内を流れる阿武隈川とその支流でも、遡上する鮭や川魚を対象とする漁労が行われたと推定されており、阿武隈川北岸の東大枝地区にある林正寺遺跡や矢洗遺跡からは、漁網の錘(おもり)に使われた土錘(どすい)と呼ばれる土器も発見されています。奈良時代、「風土記」によれば常陸国や出雲国で鮭が獲れたという記述があり、平安時代、朝廷は租税として諸国から鮭を納めさせました。時代は下り江戸時代、諸藩が幕府に献上した特産品の中には「塩引き鮭」があり、享保年間、梁川を支配した松平家は、多くの品々とともに「塩引」を献上しました。この松平氏が「築川」を「梁川(やながわ)」に改めたと言われています。また、越後国の村上藩では領内を流れる三面川で、鮭の「母川回帰性」に着目した「種川の制」と呼ばれる天然繁殖法が導入されました。これは鮭が産卵する川の瀬に柵を設け、鮭を囲い込んで産卵させ、春になって稚魚が川を下る季節に一切の漁を禁止するものでした。この繁殖法の成功は、村上藩に莫大な富をもたらしました。明治時代、「種川の制」は北海道に伝わり、多くの河川で採用されました。村上地方は鮭の人工ふ化に成功し、鮭の遡上数が飛躍的に伸び、我が国における人工ふ化の先駆けとなりました。

昭和三十年代頃まで、梁川町内でも鮭漁が盛んに行われました。阿武隈川の川原に「サケオノ小屋」と呼ばれる小屋を設けて行う漁、「セキヨツデ」と呼ばれる築場を設けて行う漁、「モンヒキ」と呼ばれる股引状の細長い網を仕掛ける漁などがありました。富野地区や五十沢地区には築場が設けられ「滝」と呼ばれ、阿武隈川沿いには、「滝」に由来する「築滝」「ゆき滝」「兜滝」「地蔵滝」などの地名が残っています。梁川名物「紅葉漬」は、生鮭の切り身に米麴と塩を混ぜて漬け込み発酵させたもので、江戸時代の文政期より伝わる保存食でした。高度経済成長期、水質汚濁や河川工事の影響で鮭の遡上が少なくなると、阿武隈川の鮭漁は姿を消しましたが、これを機会に阿武隈川や広瀬川と流域住民の営みに思いを巡らせ、自然環境の大切さや先人の知恵について考えることも大切ではないかと思えます。



富野地区の築場(昭和30年代)

【参考文献】「梁川町史第1巻通史Ⅰ、第11巻民族編Ⅰ」「梁川町史資料集第31集」「悠久の流れ—未来へ」「マルハニチロ サーモンミュージアム HP」

三年生は
自宅学習
に入りました

2月1日より3年生は自宅学習に入りました。各自が規則正しい生活を心がけ、事故やトラブルに巻き込まれないようにしてください。また、家族との時間を大切にするとともに、4月から始まる就職・進学後の新しい生活への心構えをして欲しいと思います。3月1日は卒業式です。体調を整えて晴れの式典に臨んでください。なお、2月15日(金)は3学年登校日、2月28日(木)は卒業式予行となっています。保護者の皆様のご協力をお願いします。

■ 学習成果の発表が行われました



【音楽】

1月22日の4校時、音楽Ⅲを選択履修している3年生による課題研究発表会が行われました。最初に生徒全員が「思い出がいっぱい」を合唱しました。テレビアニメの主題歌にもなった懐かしい曲に、3年担任の先生方は早くも涙腺が緩み、頬には光るものがありました。次に生徒一人ひとりが課題研究のまとめとして、「練習して出来るようになったこと」「練習して難しかったところ」「課題研究を通して学んだこと」を発表してから、ピアノ・ギター・ハーブの独奏や三線の弾き語りを披露してくれました。短時間の練習にもかかわらず、よくここまで上達したと感心すると同時に、生徒達の演奏を通して音楽の良さを再認識しました。



課題研究に選んだ楽器の演奏に取り組む生徒達は真剣そのもの



【家庭】

1月23日の4校時、フードデザインを選択している3年生が調理実習に取り組みました。班ごとに思い思いのメニューを調理し、完成後は試食会が行われました。試食会にはお世話になった先生方をお招きし、料理を試食していただきました。生徒と先生方は楽しい雰囲気の中、ハンバーグ、揚げ出し豆腐、カツ丼、カレーライスに舌鼓を打っていました。テーブルには笑顔の花が咲きました。美味しいものは人を幸せにすることを実感しました。私はハンバーグ定食をご馳走になり大満足でした。



私が食べた特盛りハンバーグ定食 お世話になった先生方に感謝の気持ちを込めて

■ キャリア教育の充実に係る取り組み

【インターンシップ】

1月22日から24日の3日間、2年生はインターンシップに取り組みました。就業体験学習を通して、生徒の勤労観や職業観を養い、社会人として必要な資質を身につけることを目的に毎年実施しています。今回の実習先は地元19の事業所でした。生徒諸君は実習を通して、働くことの大変さを肌で感じ、進路の方向性を絞り込むきっかけとしていました。進路指導の担当者によれば、例年、インターンシップ実施後の生徒の目の色が変わること。生徒諸君も何かをつかんだようです。このたびは繁忙期にもかかわらず、引き受けていただいた事業所の皆様には、紙面を借りて心より御礼申し上げます。



【企業・上級学校見学会】

1月22日、1年生は企業・上級学校見学会に出かけました。製造業関係に就職・進学を希望する生徒はAコースに、サービス・販売業関係に就職・進学を希望する生徒はBコースに分かれ、バスで見学先に向かいました。生徒諸君は自分の目で企業と学校を見て、進路決定の参考にしていました。これを機会に将来どのような仕事に就きたいのか、真剣に考えて欲しいと思います。学校としても生徒諸君がよりよい進路選択ができるよう、今後も継続して指導して参ります。今回の見学場所を以下のとおりです。お忙しい時期に見学させていただいた企業と学校の皆様には、紙面を借りて御礼申し上げます。



Aコース：富士通アイソテック、SSKセールス、テクノアカデミー浜

Bコース：ダイユーエイト、ウェディングエルティ、国際ビジネス公務員大

梁美展が開催されました

1月24日から27日まで、梁川美術館において美術部による梁美展が開催されました。生徒達の日頃の活動の成果である油彩画、細密画、デッサン、スケッチ、立体模型などの様々なジャンルの作品は、来場者の目を楽しませていました。皆さん、お疲れ様でした。



【作品介绍】

